

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	東御市がん教育、がん哲学推進事業
事業主体 (連絡先)	東御市(東御市教育委員会) TEL: 0268-64-5879
事業区分	(3)教育、文化、スポーツの振興に関する事業 (2)保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,824,848円(うち支援金: 1,368,000円)

事業内容

- ①がん教育用テキスト(副読本)作成
小学校高学年、中学生へのがん教育を進めるためテキスト(副読本)を作成した。
・作成部数: 1,000部
- ②講演会、シンポジウム
樋野興夫氏によるがん教育の講演会及びシンポジウムを開催した。
・開催日: 1月26日(木)
・場 所: 東御市中央公民館
・参加者: 120人
- ③がん哲学カフェ
がんの罹患者、その家族等を対象としたがん哲学カフェを開設した。
・開催日: 1月26日(木)
・場 所: 中央公民館



【作成したテキスト】

【目標・ねらい】

- ①児童・生徒に対し、がん教育を進める
- ②市民に対し、がんに対する関心を高めってもらう
- ③市民のがん検診受診率を向上させる

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①がん教育テキストは「がん」を正しく学び、向き合う心構えを養うことができる内容となった。児童・生徒にがん教育を進められるテキストとなった。
- ②がん講演会とシンポジウムの開催で、参加者に対し、がんに対する理解と身近な罹患者との向き合い方について考える機会となった。
- ③がん哲学カフェは、がん罹患者やその家族等を対象とした同じ悩みを持つ者同士が語り、情報を共有できた。

※自己評価【A】

【理由】

- ・まんがテキストとすることで、分かり易い内容となった。
- ・樋野興夫氏に講演会を依頼したことで多くの市民に参加していただけた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

小中学生児童・生徒に対しては、がん教育テキストを活用しながら、正しい知識と理解を身に付けられるよう指導する。
市民に対しては、講演会をきっかけに、がんに対する理解、関心を高めてもらいつつ、がん検診受診率を向上できるような様々な機会を周知を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)